

医療機関（調査票案）

挨拶文等

医療機関の概要についておたずねします。

問1 貴医療機関の基本情報について各項目をご記入ください。(令和7年3月末現在)

診療科	()		
病床数	(床)		
外来患者数	1日平均 (人)		
スタッフの数 (実人数)	医師 (人)	看護師 (人)	相談員 (MSW) (人)
	その他の福祉専門職 (人)	その他の医療専門職 (人)	事務その他 (人)

問2 在宅療養支援診療所(病院)としての届け出をしているかどうか、お答えください。(○は1つ)

1 している	2 していない
--------	---------

在宅医療への取り組み状況についておたずねします。

問3 訪問診療をされていますか。(○は1つ及び件数・人数を記入)

1 している	① 平均件数(平均 件/日) または(平均 件/月)
	② 対象者数(実人数 人)
2 していない	⇒ 問3(2) へ

問3で「1 している」に○をつけた医療機関におうかがいします。

問3(1) 訪問診療はどなたからの依頼で行っていますか。(○はいくつでも)

1 患者本人・家族からの依頼
2 訪問看護ステーションからの依頼
3 ケアマネジャーからの依頼
4 他の医療機関や医師からの依頼
5 有料老人ホーム等の施設からの依頼
6 その他 ()

⇒ **問4**へお進みください

問3で「2 していない」に○をつけた医療機関におうかがいします。

問3(2) 訪問診療を実施しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 外来診療などが多忙で、訪問診療を実施する余裕がないから
2 診療報酬が十分でないから
3 体力や精神的に難しいから
4 実施するためのノウハウが良くわからないから
5 自宅では、適切な検査や対応が困難だから
6 既存の訪問診療で充足しているから
7 その他 ()

問4 (1) 依頼があれば往診をされているかどうか、お答えください。(○は1つ)

1 している

2 していない ⇒ **問5**へ

問4で「1 している」に○をつけた医療機関におうかがいします。

問4 (1) 休日や夜間に往診の要望があった場合、対応していますか。(○は1つ)

- 1 自分で対応する
- 2 訪問看護による対応を先行させ、必要があれば自分で対応する
- 3 夜間・休日は他の医療機関に依頼する
- 4 対応していない

問5 高齢者の自宅で看取りを行ったことがありますか。(○は1つ)

1 ある

2 ない

問6 看取りを行う上で、困難と感じることは、どのようなことですか。(○はいくつでも)

- 1 延命治療を行うかどうか、本人の希望がわからない
- 2 現場にいる介護職からの問い合わせへの対応等、連携が難しい
- 3 かかりつけの患者の看取りの際、別の患者の診療と重なってしまい、対応できないことがある
- 4 現場の介護職の対応が不足していると感じることが多い
- 5 検視検案ケースにならないようにするのが難しい
- 6 その他 ()

在宅療養を支援する上での課題についておたずねします。

問7 訪問診療を行う診療所の数は、市内に十分あると思いますか。(○は1つ)

1 充足している

2 足りない

3 その他 ()

問8 休日や夜間に往診を行う診療所の数は、市内に十分あると思いますか。(○は1つ)

1 充足している

2 足りない

3 その他 ()

問9 訪問看護ステーションについて

(1) 訪問看護ステーションの数は、市内に十分あると思いますか。(○は1つ及び記入)

1 充足している

2 足りない(具体的に:)

3 その他 ()

(2) 訪問看護サービスの提供について、足りないと感じる時間帯(夜間～早朝)をお答えください。
(○はいくつでも)

1 18:00～22:00 (夜間)

2 22:00～6:00 (深夜)

3 6:00～9:00 (早朝)

問10 在宅での服薬の状況について

(1) 服薬を忘れる患者さんについては、どのように対応されていますか。(〇はいくつでも)

- 1 薬の処方工夫し管理しやすくする等、薬剤師に指示する(1包化、服薬回数を減らす、パッチ等)
- 2 調剤薬局・薬剤師の訪問等により服薬管理を実施できるようにする(在宅患者訪問薬剤管理指導)
- 3 訪問看護ステーションに服薬管理を指示、依頼
- 4 ケアマネジャーに服薬管理を指示、依頼
- 5 家族や施設の介護スタッフへ指示、依頼
- 6 その他()

(2) 薬を飲み込むことが困難な患者さんについては、どのように対応されていますか。(〇はいくつでも)

- 1 薬の処方工夫し、飲みやすい薬に変えたりしている
- 2 注射や点滴などで代替している
- 3 ゼリーやとろみ水を利用するなど、飲みやすくしている
- 4 その他()

問11 在宅高齢者による医療機器の管理について困難な事例はありますか。また、その場合の対処方法をお答えください。(〇は1つ及び記入)

- 1 管理が困難な事例はない
- 2 管理が困難な事例がある(具体的な対処方法:)

問12 (1) 診療時に、身寄りのない患者さんが、介護や生活支援を必要と感じた際、どなたに支援を要請しますか。(〇はいくつでも)

- 1 地域包括支援センター
- 2 ケアマネジャー
- 3 貴病院(貴診療所)内のメディカル・ソーシャル・ワーカー等の相談員
- 4 訪問看護師
- 5 市立病院に設置されている「在宅療養高齢者等支援窓口」
- 6 在宅療養支援センター
- 7 その他()

(2)(1)で選択した機関や専門職にどのようなことを期待しますか。支援要請先ごとに、期待する支援の内容を記載してください。

支援要請先	期待する支援の内容
1 地域包括支援センター	
2 ケアマネジャー	
3 貴病院（貴診療所）内のメディカル・ソーシャルワーカー等の相談	
4 訪問看護師	
5 市立病院に設置されている「在宅療養高齢者等支援窓口」	
6 在宅療養支援センター	
7 その他 ()	

問13 受持ち患者の人数について

受持ち患者の入院について、他の病院（診療所）に相談したものの、入院を拒否された例はありますか。（○は1つ）

1 ある	2 ない ⇒ 問14 へ
------	---------------------

問13で「1 ある」に○をつけた医療機関におうかがいします。

問13(1) 他の病院（診療所）への入院を円満にするために、どのような対応をされていますか。（○はいくつでも）

<ul style="list-style-type: none"> 1 患者と相談し、あらかじめ受け入れ先の医療機関を決めている 2 訪問看護ステーションを通じて受け入れ先を探す 3 知り合いの医師や医療機関に依頼する 4 特定の病院と、患者の受入れについて予め提携しておく 5 救急搬送を行い、委ねる 6 日野市の「在宅療養高齢者一時入院支援事業」を利用し、市立病院に入院を働きかける 7 特に対応はしていない（入院させることに苦労はしている） 8 特に対応はしていない（入院は円滑にできているので） 9 その他 ()

問 14 情報提供について

他の病院に入院させた受持ち患者が退院する際、病院から積極的に情報提供がされていますか。

(○は1つ)

- 1 ほとんどの場合、問い合わせなくても病院から退院時に情報提供を受けられる ⇒ **問15**へ
- 2 こちらから問い合わせれば、情報提供を受けられる ⇒ **問15**へ
- 3 ほとんど、病院から情報提供は受けられない

問 14で「3」に○をつけた医療機関におうかがいします。

問 14 (1) 他の病院から情報提供を受けられない場合、どのように退院した受持ち患者の情報を入手しますか。(○はいくつでも)

- 1 訪問看護師を通じて情報を得ている
- 2 ケアマネジャーを通じて情報を得ている
- 3 地域包括支援センターを通じて情報を得ている
- 4 患者本人・家族から情報を得ている
- 5 その他 ()

認知症の支援についておたずねします。

問 15 認知症と疑われる患者について、認知症の診断を行っていますか。(○は1つ)

- 1 診断を行っている ⇒ **問16**へ
- 2 診断を行っていない

問 15で「2 診断を行っていない」に○をつけた医療機関におうかがいします。

問 15 (1) 認知症の診断は、ほかの医療機関を紹介されていますか。(○は1つ)

- 1 認知症の診断が可能な、市内の医療機関を紹介している
- 2 認知症専門医がいる、市外の医療機関を紹介している
- 3 「2」以外の認知症の診断が可能な、市外の医療機関を紹介している
- 4 認知症の診断が可能な医療機関との連携体制がないため、紹介はしていない

問 16 認知症の治療にあたり、困難だと感じることはありますか。(○はいくつでも)

- 1 精神疾患と認知症の区別が難しい
- 2 適切な認知症治療薬の処方が、専門医でないと難しい
- 3 本人が、認知症の診断を受けることに抵抗を示す
- 4 家族が、認知症の診断を受けることに抵抗を示す
- 5 MRI等、診断に必要な設備がない
- 6 その他 ()

問 17 早期診断・早期治療について

認知症患者または認知症が疑われる患者の初診時に、もっと早く認知症治療を始めれば良かったのではと感じたことはありますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------|---------------------|
| 1 よくある | 2 ときどきある |
| 3 たまにある | 4 ない ⇒ 問18 へ |
| 5 その他 (|) ⇒ 問18 へ |

問 17で「1」～「3」に〇をつけた医療機関におうかがいします。

問 17 (1) どのような理由から早期治療の必要性を感じられましたか。(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 もっと早く服薬をしていれば、進行を遅らせることができた |
| 2 脳血管障害等による症状であったので、早期に手術を行えば、かなりの程度回復する見込みがあった |
| 3 もっと早く認知症の診断を受けていれば、介護保険等の資源を有効に使うことができた |
| 4 その他 () |

介護との連携についておたずねします。

問 18 介護との連携

在宅療養をしている高齢者を支援するにあたり、ケアマネジャーや介護事業所（地域包括支援センターを含む）との連携は必要だと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------|---------------------------|
| 1 必要である | 2 必要ない ⇒ 問18 (2) へ |
|---------|---------------------------|

問 18で「1 必要である」に〇をつけた医療機関におうかがいします。

問 18 (1) 連携が必要だと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| 1 患者の生活面に不安を抱えていそうだと感じるから |
| 2 適切な治療や薬の処方、診断、在宅療養の支援のため、介護等の情報を収集することが必要だから |
| 3 医療だけでなく介護や生活支援を含めた、総合的な支援が必要であると感じるから |
| 4 その他 () |

⇒ **問 19**へお進みください

問 18で「2 必要ない」に〇をつけた医療機関におうかがいします。

問 18 (2) 連携が必要ないと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 医療機関は、医療のことに特化して支援した方が、むしろ効果的な支援ができるから |
| 2 情報や課題の共有、支援策の検討をしてもより良い支援につながるとは思えないから |
| 3 ケアマネジャーや介護事業所とは医療用語や知識の面でコミュニケーションがとりづらく、訪問看護ステーションを介する方が効果的だから |
| 4 介護に関する知識が自分に不足しており、連携しても期待した効果は得られそうにないから |
| 5 その他 () |

問 19 利用者の急変時に対応するため、どのような対策をとっていますか。(〇はいくつでも)

- 1 緊急連絡網がある
- 2 急変時の対応の手段を決めている
- 3 包括やケアマネの事業所と連携している
- 4 訪問看護の事業所と連携している
- 5 往診等の対応をしている
- 6 その他 ()

問 20 ケアマネジャーや介護事業所(地域包括支援センターを含む)との連携はどのように行っていますか。(〇はいくつでも)

- 1 患者や家族、ケアマネジャー等の関係者と支援内容等について打合せを行っている
- 2 関係者を集めて打合せを行うことはないが、ケアマネジャーと別個に打合せを行うことがある
- 3 診療情報を、ケアマネジャーや介護事業所に、情報提供している
- 4 利用している介護サービスの情報や、生活状況、状態等について、ケアマネジャーから情報提供を受けている
- 5 介護サービスの利用開始が必要だと感じる患者に関し、担当してくれそうなケアマネジャーに自分から連絡し、つなげている
- 6 現在の介護サービスの状況等を確認するため、自分からケアマネジャーに連絡し、情報を収集している
- 7 その他 ()

問 21 連携する際、地域包括支援センターに期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 担当着任時に、かかりつけ医に担当となった旨、一報入れてほしい
- 2 構えず、気軽に連絡を入れてほしい
- 3 連絡を入れる時間には、診療時間を避けるなど、気をつけてほしい
- 4 医療的な知識も多少勉強してほしい
- 5 介護に関する知識は、かみ砕いて説明してほしい
- 6 特にない
- 7 その他 ()

問 22 連携する際、ケアマネジャー、介護事業所に期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 担当着任時に、かかりつけ医に担当となった旨、一報入れてほしい
- 2 構えず、気軽に連絡を入れてほしい
- 3 連絡を入れる時間には、診療時間を避けるなど、気をつけてほしい
- 4 医療的な知識も多少勉強してほしい
- 5 介護に関する知識は、かみ砕いて説明してほしい
- 6 特にない
- 7 その他 ()

情報共有の手段についておたずねします。

問 23 ケアマネジャーや介護事業所（地域包括支援センターを含む）、訪問看護ステーションと情報共有を図る場合、どのような手段で情報共有を図っていますか。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1 電話 ⇒ 問24へ | 2 FAX、e-mail、郵送 |
| 3 会議・打合せ ⇒ 問24へ | 4 メディカルケアステーション（MCS）* |
| 5 その他（ ） ⇒ 問24へ | ⇒ 問24へ |

*メディカルケアステーション（MCS）は、地域包括ケア・多職種連携のためのコミュニケーションツール

問 23 で「2 FAX、e-mail、郵送」に○をつけた医療機関におうかがいします。

問 23（1） 貴医療機関では、決まっている書式を用いていますか。（○は1つ）

- | | |
|------------|---------------|
| 1 書式を決めている | 2 特に決まった書式はない |
|------------|---------------|

問 24 日野市では、医療機関とケアマネジャー等との連携時に活用いただけるよう、情報共有のための「介護と医療の連携シート」を作成していますが、これを活用していますか。（○は1つ）

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1 活用している | 2 他のシステムで活用している |
| 3 活用していない | |

医療連携についておたずねします。

問 25 市内の診療所で協力・連携し、24時間の往診体制を整備することは、必要と考えますか。

（○は1つ）

- | | |
|---------|--------|
| 1 必要である | 2 必要ない |
|---------|--------|

問 26 24時間の往診体制を整備することになったとき、協力は可能ですか。（○は1つ）

- | | |
|----------|-------------------------|
| 1 協力する | 2 ローテーションの頻度によっては、協力できる |
| 3 協力は難しい | |

フレイルについておたずねします。

問 27 日常の診療において、「フレイル」を意識した診療を行っていますか。（○は1つ）

- | | |
|---------|-----------------|
| 1 行っている | 2 行っていない ⇒ 問28へ |
|---------|-----------------|

問 27 で「1 行っている」に○をつけた医療機関におうかがいします。

問 27（1） 仮に、「フレイル」と診断した場合、どのような対応を行っていますか。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 医療的な面から生活上の注意を伝える | 2 通いの場への参加をすすめる |
| 3 日常的な運動をすすめる | 4 食事についてアドバイスする |
| 5 その他（ ） | |

